

令和2年度第2回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和2年7月21日（火）14:00～15:20
- 広島港湾振興事務所大会議室（広島市南区宇品海岸二丁目23-53）

2 出席者

- 委員16名出席（1名欠席）

3 議事要旨

（1）協議会の進行

- 令和元年度第4回協議会の議事概要の確認
- 令和2年度第1回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策について

（2）発言要旨

【令和元年度第4回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

【令和2年度第1回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

【廃棄物の受入実績等について】

- ・ 広島市のごみ焼却灰について、未燃残渣が残るのは焼却炉の性能の問題なのか。また、その問題の改善は考えているか。
 - 残渣の発生については、炉の形状の問題であると考えている。改善については炉自体の問題であるため、すぐすぐには難しいが、県や公社と協議を行い、混入防止策として、排ガスの処理に影響が出ない範囲で、焼却炉の火格子上のごみの厚さや燃焼温度の調整などにより、少しでも発生を防ぐというような方法が取れないか現在検討している。
- ・ 炉は建設されてから何年経過しているのか。
 - 建設の年度については、中工場は平成16年、南工場は昭和63年になる。
- ・ 炉の欠点、欠陥があったことと結論付けられるのではないか。
 - 階段上のストーカ炉に焼却物を載せていく訳だが、その勾配が少しいついでということで、広島市内に限らず、全国でもそういった焼却炉になっているため、欠陥ではないというふうに認識している。
- ・ 残渣で残ったプラスチックについて、特定の物は残るのか。
 - 特定の物ということではなく、例えば調味料の入れ物などがある。いずれにしても、沈まなく、浮く物になると思われるが、浮遊物をすくい、それを専門業者に委託して、中工場の方に持って行き処分しているというような状況である。

- ・ 搬入ルート別事業者数について、事業者の数だけ書いてあるが、台数を記載すべきではないか。
→ 台数を拾い上げて掲載できるかどうか検討する。

【処分場の維持管理状況等について】

- ・ 水位等のモニタリング状況というのは、何のためにされているのか。
→ 余水池に雨が降って水位が上がり続けると溢れ出してしまうため、余水処理施設で水処理後、下水道に流して水位を下げるというコントロールが必要になる。施設を稼働させても、急に水位が下がる訳ではないので、日々水位を見ながらそのタイミングを計るという意味がある。また、逆に水位が低過ぎると、様々な面で下に敷いているシートに影響がでる可能性があるため、管理水位を2m～3mで管理している。
- ・ 出島処分場余水池の水質変動について、これは別に対策を講じた訳ではなく、自然に従来の水質に戻ったという理解でよいか。
→ よい。

【周辺環境の調査結果について】

(意見なし)

【地域振興策について】

- ・ 令和2年度のソフト事業について、今年度はコロナの影響により、例年の事業実施が難しいため、今年度に限り、使いきれない場合は来年度へ繰り越しが出来るよう検討してもらいたい。
→ 一度持ち帰って、別途対応できるか検討させてもらいたい。

※ 担当事務局
広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)